

労働条件は安全
を支える基盤

航空連ニュース

航空労組連絡会
大田区羽田 5-11-4 フェニックスビル
Tel 03-3742-3251
Fax 03-5737-7819
No.1054 (39-3) 2025年2月6日

値上げラッシュ 増加する業務量 賃上げや職場要求の実現で生活改善

25春闘が始まりました。2年続いてベースアップがあったものの、物価上昇に追いつかず、実施賃金はマイナスが続いています。

2024年の訪日外国人旅行者数は3686万人に達し、2025年は4000万人に達すると予想されており、各社は国際線を中心に増便計画を進めています。一方、職場の人材不足は依然として解消されず、労働強化がますます深刻化しています。



帝国データバンクによると、2月に値上げが予定されている食品は1656品目にのぼり、2か月連続で1000品目を超える状況です。燃料価格も上昇傾向にあり、政府のガソリン補助が縮小されレギュラーガソリンは1リットル当たり181円に達しています。北海道では灯油の配達価格は18リットル2400円となり、家庭用の400リットルタンクを満タンにすると1回の支払いが4万円から5万円になります（JGS労組員談）。

積極的な賃上げ要求を実現し、生活の改善につなげていきましょう。

25年度国際線増便 人材確保急務

海外航空会社は、好調な旅客需要を見込んで日本路線の増便を進めています。すでに3月後半の夏期スケジュールに向け、増便計画の発表が相次いでいます。ANAとJALが発表した25年度の国際線便数計画によると、ANAは24年度対比で108%、JALは105%を予定しています。

一方、このように業務量の増加が計画されていますが、人材や資格者不足、器材不足など、生産体制が追いついていない現状も浮き彫りになっています。こうした課題に対応するためには、賃上げや働き方の見直しとともに、人材確保や離職防止に向けた施策の拡充が求められます。

以上